

ハケ岳に住む喜びは美しい自然の風景を眺めながら、四季の彩りを肌で感じ、大きな空間に身を置く開放感にあります。しかし、その美しい風景が、私たち人間によって壊されてきました。特に家の建設による自然破壊、景観破壊が目立ちます。ハケ岳に暮らして、私たちも自然の一部であること、そして、自然がもたらす心の豊かさに感謝すると同時に、自然景観の重要性に気づきました。

この地に住まいを持つ時、もつと自然のこと、自然と共に暮らすこと、そして、地域のことを知れば、自然景観を壊すことも少なく、みんなが快適に過ごせるのではないのでしょうか。

ハケ岳に暮らして、「こんなこと知っておけばよかった」と思うことがたくさんあります。これは、そこから生まれた住まい作りへのメッセージです。

家を建てる前に

✧ 土地の広さは最重要課題

少なくとも150坪、できれば200坪以上ほしい。100坪では、自然を残すのは難しい。200坪だと、日当たりを確保しながら、樹木も残せる。自然の木のある家は美しい。隣とも適度の距離を保てるので、人の気配も気にならず心地よい。土地を選ぶ時、後で後悔しないよう、できれば広さを求めたい。

✧ 樹木の恩恵は想像以上

森に家を建てる時、木を切らなければならない。しかし、自生の木ほど、自然を身近に感じさせるものはない。冬の風を和らげ、夏は緑陰を作り、隣との目隠しになる。木は残そう。切ったら植えよう。植えると自然の維持に近づける。

✧ 自然のままの地形は広々と見える

自然の地形は美しい。地形を活かして家を建てると、広々と見え、自然との一体感も大きい。窪地は梅雨時水路になるので、埋めないでおきたい。造成は地形だけでなく、“みず道”も変えるため、問題が起きやすい。安易な造成はやめよう。

家を建てる

✧ お隣へ配慮を…境界まで余裕を持とう

境界から最低3-4m以上引いて家を建てよう。目隠し用に木を残せるし、植えることもできる。隣地の日照を侵害しなくてすむ。特に屋根の雪は遠くに落ちるので、十分な距離が必要になる。「法的には問題ない」と言われても、隣家が接近していて心地よい人はいない。お隣への配慮は、心地よく暮らす第一歩。それが田舎では特に大事だ。

✧ 家は眺めの一部…統一感のある美しさ

田舎では家全体が見え、家は眺めの一部となる。統一感のある家並は見ると安らぎとゆとりを与えてくれる。隣家が離れていても、遠景では連続した家となって目に入る。屋根の向き・色、外壁の色を周囲と揃えれば、美しい眺めとなる。

✧ 自然に溶け込む家…屋根の色・形、外壁

田園・森と調和した家は美しい。屋根は自然に溶け込む黒か濃い茶を。シンプルな屋根は雄大な景色によく似合う。外壁は木や土の自然素材にして、茶系を基調にすると、樹木の緑が美しく映える。派手な色は自然の中では不協和音を発し、住み手が飽きるのも早い傾向がある。

✧ 民家に学ぶ

民家は地域の気候にあった家のお手本。屋根の向き、庇、屋敷林に注目。なんでも設計者任せにしないで、住んでいる人に雪や風、水のことを聞いてみよう。



庭を作る

✿ 自然の庭は飽きない

庭が一番身近な自然。野の花も自生の木もよく育つ。手間もいらない。それに、小鳥やリスもよく訪れる。庭に、自然のままの部分を確認すると、八ヶ岳の自然の維持につながる。(だから無断採取は厳禁!)



✿ 庭づくりは急がない。よその土を入れるな

急いで土を入れ、園芸種の樹木や芝生で庭を造らない方がいい。"芝生"や"外来種"は八ヶ岳の生態とは違う。よその土も生態系を変える。土が自然のままなら、2-3年待つと野草が出てくる。木の生長を見ながら、ゆっくり庭づくりをするのは楽しい。庭に砂利を入れると後でやっかいだ。

暮らす

✿ 毎日自然を感じる醍醐味、暗闇と輝く星空

静けさの中に小鳥の足音が聞こえる。木の葉がざわめき、夜は満点の星! 自然の中に暮らす心地よさは格別。だから気をつけよう。音は意外に遠くまで聞こえる。暗闇があるからこそ、輝く星空と月夜の明るさがある。自分ちの門灯でも星がすすむ。外灯、門灯は必要な時だけに。

✿ 暮らしてわかる自然の厳しさ

自然が豊かな所には、不便も自然の厳しさもある。冬は寒くて長い。雪も降る。でもそれが「自然」。その厳しさを受け止める余裕をもとう。雨、風、草の勢いだってスゴイ。厳しいからこそ、自然の美しさが惜しみなくあり、八ヶ岳の自然を肌で感じながら暮らす喜びがある。

宗庫! 知っておけばよかった

- 100坪じゃ狭かった。
- 隣や道路から引いて家を建てればよかった。
→ 雪が隣の敷地に落ちてトラブルに。
日陰になって道が凍る。
- 雪が降るとは → 屋根の形、向き、庇に注意。
- 寒い! 寒さを考えて家を作ればよかった。
- 標高でこんなに気温が違うなんて。
→ 100mで1度下がるのが実体感。
- 砂利を入れなければよかった。
- よその土を庭に入れた → 野草が育たない。
- 木を切らなきゃよかった → 木は、風も暑さも人の目も遮る。自然の風情も創る。
- 開発計画を役場に聞いておけばよかった。
→ 突然道路ができて、騒々しくなった。
- 電柱が目障り! 位置を検討すればよかった。
電線を地下に埋めればよかった。
- "塀"は眺めをさえぎるだけだった。

賛同会員になりませんか?

◇ 住んでいる人の生活実感 ◇ 冬の暮らし方 ◇ 土地の樹木の見分け方 ◇ 家作り などへのアドバイスが得られます。お問い合わせは下記へどうぞ。

八ヶ岳南麓景観を考える会

山梨県北巨摩郡大泉村西井出 8240-838
TEL 0551-38-0248 FAX 0551-38-4027

E-mail akari-m@d5.dion.ne.jp
http://keikan.web.infoseek.co.jp
郵便振替口座 00270-1-72747



(無断転載・複写は禁じます)
© 2003 八ヶ岳南麓景観を考える会

心地よく

八ヶ岳に住みたい

美しい景観を作りながら

